

新庄市議会 行政視察報告書

会派又は議員名 起新の会

【全体的事項】

1. 視察日程 平成28年 1月15日（金）
2. 調査事項（視察先）
 - （1）国民健康保険の見直しについて（厚生労働省保険局国民健康保険課）
3. 視察参加議員（議席順）
石川正志 小嶋富弥 佐藤義一（代表）

【具体的事項】

調査事項（1）

国民健康保険の安定化に向けた改革（厚生労働省保険局国民健康保険課）

（視察事項）

説明者：厚労省保険局長 唐澤 剛氏
" 国民健康課長 榎本健太郎氏

○国民健康保険の見直しについてのこれまでの主な経緯

○国民健康保険の現状と課題

1. 年齢構成が高く、医療費水準が高い
2. 所得水準が低い
3. 保険料負担が重い
4. 保険料（税）の収納率低下
5. 一般会計繰入充当
6. 財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者の存在
7. 市町村の格差

○国民健康保険の安定化に向けた改革

1. 国民健康保険への財政支援の拡充（公費拡充）
平成30年度から
 - ① 財政調整機能の強化

- ② 自治体の責めにならない要因による医療費増負担への対応
- ③ 保険者努力支援制度
- ④ 財政リスクの分散・軽減方策

2. 運営の在り方の見直し

- ① 平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化
- ② 市町村は、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保険事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う。

○健康づくりへの取組

■視察日時 平成28年 1月15日（金）
午後 3時30分 ～ 5時00分

■所 感

新庄市民の約3割が被保険者として加入している国民健康保険ですが、議会においても、これまで市単独での運営が厳しくなっていると言った議論がされてきました。また、新庄最上地域住民の悲願でもありました県立新庄病院の改築に向けた議論も盛り上がる中、極めて厳しさを増す新庄最上地域の医療資源の有効活用をどのようにしていくのかと言った問題も重要視されております。平成30年度の国民健康保険の県単位化等、国民健康保険の見直しまで残り僅かとなりましたが、厚生労働省を訪ね、市民公明クラブに所属する同僚議員とともに勉強会を開催しました。

改革後の国保の運営のあり方は、都道府県と市町村のそれぞれの役割が設定されていますが、これまで市が責務を負っていた財政運営は県に移行されます。但し、保険料（税）は、率の決定、賦課徴収は市の役割となりますが、いったいどれくらいの保険料になるのかはこれからの話し合いで決定されます。また、医療費の適正化に向けた取組（保険者努力支援制度）700～800億円（公費負担）も、指標等はまだ明確にされていませんでした。制度の内容としては、これまで議会においても議論されてきましたが、特定検診の受診率の向上、健康指導の実施、後発医薬品の普及などです。

国民皆保険は、日本の誇る医療保険制度であると思います。即ち、加入者相互の互助により誰もが安心して医療を受ける事ができる制度です。国保改革によって新庄市の健康行政は、地域の医療資源を勘案した医療費の適正化にシフトしていく事が想像されます。平成28から29年度、国民健康保険改革に向けた議論も活発になりますので、この度の研修で培った知識をフルに活用していきたいと思っております。

（文責 石川正志）